

GST (Global Service Team) 委員会 活動報告

GST 委員長 藤岡 宗

◆地区ガバナースローガン 「調和への道標」 ～魂に灯をともし～

G S T : 地域が望む時代に合ったアクティビティを！！

GST 委員会活動報告

◆第4回 GST 委員会 (2025.1.21)

- ①第2回骨髄ドナー登録説明員協議会開催について
- ②大阪・関西万博特別委員会からの要請について
- ③表彰委員会について
- ④各リジョン GST 活動進捗状況

- ・「喜びの顔が見られる奉仕活動」をテーマに、時代に沿った今ライオンズが求められているものが何かを問い直し、アクティビティの変革或いは新しいアクティビティの実施を推進。
- ・会員不足等で単一クラブでは出来ないアクティビティは近隣のクラブと企画～合同実施或いはマッチングするクラブへ移管する。
- ・「クラウドファンディング」「市民参加型資金獲得事業」など地域住民の理解と協力とに支えられる善意のアクティビティ資金獲得事業計画のクラブあり。

◆第7回大阪・関西万博特別委員会 (2025.1.20)

6月22日開催されるライオンズフェスタ2025 ミライ献血会議
企画案と GST 委員会協力要請の内容についての説明を受ける。

◆アクティビティ報告及び献血アクティビティ報告率の向上について

今年度は Excel でのアクティビティ報告書は廃止。アクティビティ報告は Lion Portal より報告していただくように促進。献血アクティビティについては、赤十字血液センターと情報共有する必要性から献血アクティビティ実施計画と実施報告を Google フォームより提出のお願い。それに伴い、地区ホームページで掲載されていた献血アクティビティ日程を大阪・和歌山の各赤十字血液センターの Web サイトに移行し最新の情報を掲載することが出来た。(2024.8.2.キャビネット通達)

- ・ Lion Portal 報告率 69% (2025.2.10.現在)

◆骨髄ドナー登録者推進活動

現状：ドナー登録できるのは18歳～54歳の健康な人。ドナー登録者数は約56万人。登録者の58%が40～50歳代。25年以降、年齢超過による取り消しは毎年1万7千人～2万7千人で、今後10年間で、22万人以上が「卒業」する見込みです。登録者数は毎年増えてはいるが、少子高齢化などもあり、将来的には大幅に減る可能性もある。ドナーが見つかる確率は他人の場合、数百～数万分の1。移植を必要とする患者さんは毎年約2,000人近く。登録している患者さんのうち、実際に移植を受けることが出来る方は1,200人程度。

[献血併行型登録会]

- ・献血会場で献血に来られた方に「骨髄バンクのドナー登録について」お声がけし、説明し登録の手続きをする「献血併行型登録会」が皆様のご理解・ご協力により多くのクラブで実施されている。

併行型登録会が増えることにより登録説明員の不足が生じてきている。

[骨髄バンクドナー登録説明員講習会]

移植を必要とする一人でも多くの患者さんに最適なドナーが見つかり、生きるチャンスをお届け出来る様に、骨髄ドナー登録説明員の重要性を学び理解する講習会開催のお願い。

- ・2025.2.7(金) 12R 主催 12R 骨髄バンクドナー登録説明員講習会（座学研修）開催
- ・2025.2.21(金) 5R 主催 5R 骨髄バンクドナー登録説明員講習会（座学研修）開催

◆骨髄バンクドナー登録説明員協議会

「献血併行型登録会」この活動の中核となっておられるのが、「関西骨髄バンク推進協会」ですが、人員・財政面においてボランティアの方々の善意で支えられている現状です。この状況を鑑み地区内に、骨髄ドナー登録活動の将来に渡って、継続的な支援を目的とした「骨髄ドナー登録説明員協議会」が2024年6月発足。

- ・2024.12.20(金)

NOP 法人関西骨髄バンク推進協会と GST 委員会、ライオンズクエスト委員会、レオ委員会の各コーディネーター・委員長にて合同会議。

- ・2025.3.10(月)

第2回骨髄ドナー登録説明員協議会開催

◆「思いやりは大切なこと」奉仕アワード

ライオンズクラブ国際理事会奉仕事業委員会は審議の結果、31クラブを23-24年度「思いやりは大切なこと」奉仕アワード受賞クラブに決定しました。そのうち日本の複合地区から3クラブ受賞が決定しました。

332-F地区 秋田山王ライオンズクラブ 視力保護：視覚障害者白杖歩行講習会

336-C地区 広島佐東ライオンズクラブ 人道支援：青少年八木梅林の復活事業

335-C地区 草津レオクラブ 環境：ヨシ刈り